

| No. | 区分 | 報告・指令・号令 | 実施細目 |
|-----|----------|---|---|
| 1 | 参集 | | 放水訓練参加隊は、直接参集する。 (設置終了後は、各分団1名を除き演習への参加を考慮し参集する。) (各分団待機1名と本部技術部員で小型ポンプを始動させ動作確認する。) |
| 2 | 待機 | (挙手敬礼) 「〇〇分団、放水準備完了しました。」 (挙手敬礼) 『よし。』 | 車両を搬入後、各隊はポンプ、吸管(投入はしない)、ホース(展張)を設置する。 演習参加者の放水隊各団員は、演習終了次第放水会場に向かう。 放水隊各団員が集合したら、吸管を河川に投入し、各小隊長に放水準備が整った事を報告。 その後、ポンプ(車)脇に指揮者、筒先員、機関員、吸管補助員の順番に整列し整列し次の指令を待つ。 |
| 3 | 放水準備完了 | 「技術部角屋から各局、準備完了の報告をせよ。」 『〇〇小隊〇〇から 技術部長、準備完了。』 「了解。」 | 各小隊長は自分の隊の準備完了を受け、簡易デジタル無線機にて、角屋技術部長に準備完了の報告をする。 |
| 4 | 放水準備完了報告 | 「放水準備完了しました。」 | 角屋技術部長は報告を受け、星団長に放水準備完了の報告を行う。 |
| 5 | 開始申告 | 「只今から放水訓練を開始します。」 | 星団長は点検者に開始申告を行う。 |
| 6 | 放水開始 | 「放水はじめ。」 「技術部角屋から各局、放水訓練を実施する。送水圧力0.3Mpaにて放水開始。」 「放水はじめ。」 (ラッパ吹鳴) | 星団長より角屋技術部長は放水開始の指示を受ける。 簡易デジタル無線にて各小隊長に事前周知をする。 (小隊長は各分団技術担当から各放水隊指揮者へ伝達する。) 角屋技術部長が放水開始ラッパの合図の白旗を上げる。 (白旗合図を受け、ラッパ隊長の指揮のもと演習開始ラッパ吹鳴) (演習開始ラッパ吹鳴と同時に)エンジン始動、放水開始。(送水圧力0.3Mpa) |
| 7 | 水圧上昇 | 「技術部角屋から各局、只今から筒先員を2名とし送水圧力0.5Mpaに変更する。」 | 簡易デジタル無線にて各小隊長に指示をする。 (小隊長は各分団技術担当から各放水隊指揮者へ伝達する。) 筒先員を2名にし、送水圧力を0.5Mpaに上昇する。 |
| 8 | 放水中止 | 「技術部角屋から各局、間もなく放水を中止する。」 「放水やめ。」 (ラッパ吹鳴) 「放水やめ。」 | 簡易デジタル無線にて各小隊長に事前周知をする。 (小隊長は各分団技術担当から各放水隊指揮者へ伝達する。) 角屋技術部長は赤旗の合図、「放水やめ。」の号令をかける。 (ラッパ隊長は号令を受け、ラッパの吹鳴を行う。) 各隊は、ラッパ吹鳴により放水中止する。 簡易デジタル無線にて各小隊長に放水中止を指示する。 (小隊長は各分団技術担当から各放水隊指揮者へ伝達する。) |
| 9 | 人員報告 | (挙手敬礼) 「〇〇分団、人員機械器具異常なし。」 (挙手敬礼) 『よし。』 「技術部角屋から各局、人員報告をせよ。」 『〇〇小隊〇〇から技術部長 〇〇小隊、人員機械器具異常なし。』 「了解。」 | 操作員はエンジン停止、ホース及び筒先離脱、吸管を上げポンプの排水後(機材はそのまま)放水開始前同様にポンプ(車)脇へ整列する。 各指揮者は小隊長に人員報告 先着順に整列し報告を行う。そのまま各指揮者はその場にて待機 各小隊長は、角屋技術部長に人員報告をする。(簡易デジタル無線にて) |
| 10 | 人員報告 | 「放水隊、人員機械器具異常なし。」 | 角屋技術部長は、星団長に人員報告を行う。 |
| 11 | 終了申告 | 「放水訓練終了しました。」 | 星団長は、点検者に終了申告を行う。 |
| 12 | 撤収 | 「技術部角屋から各局、撤収。」 『撤収。』 「撤収。」 | 角屋技術部長は、星団長の終了申告終了後、各小隊長に指示をする。 各小隊長は、指揮者に『撤収』の号令をかける。 各指揮者は自隊に戻り、「撤収」の号令をかける。操作員は直ちに撤収作業を行う。 |

※演習会場から放水会場に来る各分団技術担当の副分団長、各分団放水隊員は、ヘルメット、長靴、軍手、ライフジャケット、合羽(吸管員が必要であれば)を各担当車両に前もって積んでおく。